

基本方針2 県内図書館への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)

・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいるとはいえない (1.5以上2.5未満)、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

項目	具体的内容	指標	目標値	目標達成のための主な取組(実施状況)	計	達成率	自己評価	総合評価	協議会意見	
県内図書館等が実施するサービスへの支援	県内図書館等の貸出サービスへの支援	・県民へのPR ・小規模図書館等へのセット図書の貸出 ・テーマ別セット図書の貸出	県内図書館等への協力貸出冊数	13,000冊	○ 協力貸出やセット図書長期一括貸出に加え、市町村図書館等へのテーマ別図書セット貸出サービスを行った。 ○ 電子書籍サービスの体験会では、県立図書館のサービスを説明する機会も多いことから、県民に対して相互貸借や遠隔地返却等のサービスについても、積極的にPRを行った。	12,915冊 (前年度実績12,538冊 対前年度比103%)	達成率99% 評価(4) 90~100%	○ 高等学校図書館への貸出が大幅に増加したこと で前年度比実績では増加しているが、市町村図書館への貸出が年々減少している。セット貸出の評価や刷新の必要性を含め、聞き取り等により原因を分析し、改善可能な事項については随時対応していきたい。 ○ 今後も県立図書館の資料を市町村図書館から無料で取り寄せてくれることを県民に向けてPRし、浸透を図っていききたい。 ○ テーマ別セット図書貸出サービスを利用する市町村図書館が増加した。定期的に利用される館もあるので引き続き周知につとめ、利用館を増やすような取組を続けていきたい。 ○ 高等学校図書館への貸出やテーマ別セット図書貸出サービスの実績は向上したが、資料費削減の影響により市町村図書館を通じた県民への貸出が減少したため、目標には及ばなかった。	B	○ 「県内図書館等への協力貸出冊数」は目標値はほぼ達成できたが、今後も目標値を達成するためには、新しい資料の充実やセット貸出のメニューの充実等の施策が必要であり、資料費の確保をしてほしい。
	県内図書館等からの相談対応	・内容に応じた適切な情報提供 ・相談・打合せなど、様々な機会を捉えた訪問の実施			○ 県内図書館等からの相談や照会について随時対応し、状況に応じて訪問やオンライン等で情報提供等の支援を行った。 【電話等による相談・照会等対応事例】 ・商業施設での読み聞かせ実演に係る著作権 ・県内の広域連携サービスの状況 ・逐次刊行物の複写の運用等 ・窓口での利用者対応 ・登録書式等の保存 【訪問相談の実績】 弥彦村図書館、十日町図書館、長岡市立中央図書館、上越市立高田図書館、村上市立中央図書館			○ 相談内容に応じた適切な回答や情報提供に努めるとともに、機会を捉えて各館を訪問するなどして、市町村支援の充実を図った。 ○ 次年度以降も県内図書館等からの要望に応えるとともに、定期的な訪問なども検討することによって、引き続き相談対応業務の充実を図っていく。		○ 相談対応や研修の実施により、県内図書館のサービス力の向上に貢献していただいております、感謝しています。
	高等学校図書館への支援	・高等学校への訪問相談 ・協力貸出の推進	高等学校図書館への協力貸出冊数	500冊	○ 所在する自治体の公立図書館等が移転等により長期休館し、窓口での資料受取りができない県立学校を対象に、当該図書館の休館前後期間限定で直接学校へ資料を送付する運用を開始し、対象となる自治体内の県立学校へ周知した。 ○ 学校向け電子書籍サービスの説明会の際に、資料貸出サービスのPRも行った。	1,619冊 (前年度実績489冊 対前年度比331%)	達成率324% 評価(5) 100%以上	○ 公立図書館を通じた高校への貸出サービスは前年度と同数の12校の利用があり、冊数は前年度比で330%増加した。加えて公立図書館の休館に対応するため、新たに実施した学校への直接送付については、2校の利用があり、ニーズがある事を確認できた。 ○ 県立学校司書の研修を通じ、学校司書のインターネット利用環境が不十分な場合もあるなど、学校司書まで当館のサービスの情報が届いていないことが把握できたため、すべての学校司書に届くサービスの周知方法を検討していきたい。	A	○ 「高等学校図書館への協力貸出冊数」も目標値を大幅に達成した点は大いに評価できる。次年度も協力貸出が続けられるように、県立図書館側から協力貸出のあった高校への働きかけも行ってほしい。 ○ 協力貸出しだけではなく、県立高校学校図書館の充実を期待する。
県内図書館等職員の人材育成	県内図書館等職員対象の全体研修の実施	・図書館現場のニーズに沿ったテーマの設定 ・階層別研修等の実施 ・オンラインとの併用	全体研修会・研究会の参加人数	350人	○ 階層別研修・研究会とともに、参加館のニーズに沿った内容で企画するとともに、オンラインも取り入れるなどして実施した。 <実績等> ①障害者サービス研修(第1回)(オンライン) 50人 ②新潟県公共図書館新任職員研修会 69人(1日目・会場20人 オンライン15人、2日目・会場20人 オンライン14人) ③新潟県公共図書館児童部門研究会 41人 ④新潟県公共図書館中堅職員研修 34人 ⑤新潟県公共図書館総合部門研究会(オンライン) 34人 ⑥障害者サービス研修(第2回)(オンライン) 32人 ⑦障害者サービス研修(第3回)(オンライン) 36人 ⑧新潟県公共図書館専門職員研修会 36人	332人 (前年度実績358人 対前年度比93%)	達成率95% 評価(4) 90~100%	○ 図書館現場のニーズに沿った研修テーマや内容で企画し、一層の研修効果が得られるよう調整した結果、多くの図書館職員に参加してもらったことができたが、目標にはわずかに及ばなかった。 ○ 次年度以降も図書館サービスの向上につながるような研修を開催するとともに、参加者の利便性も考慮して一層のオンライン化を図るなどして、研修の充実を図っていく。また、ブロック規模の大会開催にあわせて市町村向け研修の更なる充実を図る。	B	○ 「全体研修会・研究会の参加人数」は若干、目標値に届かなかったが、オンライン研修等の参加者が負担が少ない方法で実施されており、評価できる。オンライン研修でも対面のように図書館員同士のコミュニケーションや交流ができる時間を設けるなどの工夫も検討していただきたい。 ○ 相談対応や研修の実施により、県内図書館のサービス力の向上に貢献していただいております、感謝しています。(再掲)
	県内図書館等職員対象の個別研修の実施(メニュー数4)	・受講者アンケートの実施 ・研修内容の改善	個別研修の実施回数	10回	○ 各館の要望を踏まえて研修を準備・実施し、各図書館等のサービス向上を支援した。 <実績・予定> ①資料の修理や保存の基礎(新潟市立黒埼図書館) ②資料の修理や保存の基礎(刈羽村立図書館) ③郷土レファレンス(新潟県埋蔵文化財センター) ④燕市教職員研修・図書館担当者研修(燕市立吉田公民館) ⑤郷土レファレンス(長岡市立五尊文庫) ⑥郷土レファレンス(新発田市立歴史図書館) ⑦郷土レファレンス(南魚沼市図書館) ⑧地域資料の収集と管理の基礎(新発田市立中央図書館) ⑨郷土レファレンス(長岡市立南地域図書館) ⑩地域資料の収集と管理の基礎(弥彦村図書館) ⑪資料の修理や保存の基礎(燕市立図書館) ⑫郷土レファレンス(三条市立図書館) ⑬資料の修理や保存の基礎(新潟医療福祉大学図書館)	13回 (前年度実績10回 対前年度比130%)	達成率130% 評価(5) 100%以上	○ 研修受講者アンケートや市町村との意見交換等での要望を踏まえて、より実践的な研修を実施できるよう取り組んだ。 ○ 次年度以降も、ブロック規模の大会開催にあわせて市町村向け個別研修も更なる充実を図り、県内図書館サービスの充実につなげる。	A	○ 「個別研修の実施回数」についても先方からの依頼次第の実績になってしまいが、目標値を超えた実績を残しており、大いに評価できる。 ○ 相談対応や研修の実施により、県内図書館のサービス力の向上に貢献していただいております、感謝しています。(再掲)